



中国日本商会

今どきコラムー80

中国雑談

寒い東北

毎年、何度か東北地方（遼寧・吉林・黒竜江、さらに内蒙古も）に行くが、いつも行く南方に比べ、ここの変化はあまり大きくないように感じる。

一つの都市あるいは一つの地域が活力に欠ける大きな原因は、人口の不足と関係がある。50 年前、筆者の周囲の友人は、中学を卒業するとすぐ東北に農業をしに行ったものだ。現在では東北に仕事で行くような話はほとんど聞いたことがない。以前には東北を振興させるというスローガンに後押しされ、確かに多くの人や企業が東北に行ったものだ。しかし今のところ東北で成功したという事例を聞いたことはないし、聞くのは山海関付近にまで退いたという企業の話ばかりで、東北でも業務を行っているが、企業は北京に近い山海関に置くしかないというものだ。

改革開放の大きなうねりの中で、東北は各種の優遇政策を受けて来たのに、どうしてこんなに満足しかねる発展状況になったのか。これは東北の人口がしだいに減少し、人口が流出していることに関係がある。

人口流出問題において、最近、ある官僚の発言が中国メディアの注目を引いた。この官僚はあるフォーラムにおいて、東北経済不振の原因は、人材流出がひどく、外来人材の吸引力に欠け、ハイクラス人材が不足しているからだ。こうした現象を生み出す重要な要素は東北の寒冷な気候環境で、南方の人が行きたがらないばかりか、東北に住む人もまた南方に仕事に行きたいと思うからだと言った。

この説明はとても分かりやすい。しかし、ネット上では多くのネットユーザーが「関内（山海関以南）の人々が大半して東北を目指したあの時代、東北は常春だったの？」「カナダは東北より寒いけど、多くの東北人がカナダに移住するのはどうして？」と皮肉たっぷりの問いを投げかけた。

それもそうだ。筆者はここ数年、上海に行



瀋陽の街にて



こうと広東に行こうと、東北人を多く見かけたし、彼らとは北方方言で話すので、聞き取れることができ、とても親近感を抱いた。上海や広東で見かける東北人はとても有能で、彼らの多くが企業の中堅で、今後東北に帰るつもりかと聞くと、ほとんどの人が東北は寒いから、もうあの寒さには慣れることはできないと答える。

もし東北へ戻らない理由を深く聞き出そうとすると、たちまち複雑になるだろう。東北ではコネの重要性、役人腐敗の深刻さなどは、そこを離れた人にとって、ふたたび故郷に戻って適応するのを難しく感じさせるのだろう。

あるメディアは、東北では毎年 100 万余りの人口が流出しているという。発展改革委員会はこの説に対し、データが正確でないと言った。第 5 回・第 6 回国勢調査の結果を分析すると、100 万余りの人口流出量というのはここ 10 年の累計数であるそうだ。どっちにしろ、東北の人口流出は争えない事実である。

東北の古い工業基地の企業設備と技術は老朽化し、競争力は低下し、経済発展の足取りも相対的に緩慢で、多くの人がここから離れざるを得なくなっている。

東北の遅れはさらに、いかなる外部経済の支えも得られないということにも関係している。東北の北にはさらに遅れたロシアがあり、東は核兵器の保有を固持し、世界経済の中で最も遅れた北朝鮮である。西部は人口がより希少で、経済も同じように不如意なモンゴルだ。それに比べると東北はまだましともいえ、東北人は現状に満足している。

現在、東北の心の内の寒さは、周辺環境の劣悪さに源を発するもので、三面を貧しい隣国に囲まれ、熱くなりたくてもなりようがないのだ。ちょっと賢い人ならば、このかつてとても希望に満ちていた場所からなるべく離れたと思うだろうし、今後ここで新たな変化が起こるのはとても難しいことだろう。



(月刊『人民中国』副編集長)